

カーボンハーフスタイル推進資料 指導資料

カーボンハーフスタイル推進資料は、温室効果ガスの排出を実質ゼロにするという世界共通のゴールに向けて、自然環境や地域、地球規模の諸課題等の環境保全に関する具体的な内容を示し、児童・生徒に、環境に対する豊かな感受性や探究心、環境に関する思考力や判断力、環境に働き掛ける実践力など、持続可能な社会を構築していくための資質・能力の育成を図ることを目的に作成した教材です。

本指導資料では、カーボンハーフスタイル推進資料の授業での活用例を紹介します。

カーボンハーフスタイル 推進資料の活用例

未来の地球のために、自分でできることを考え、実践しよう ～カーボンハーフ～
革新的技術の開発 ～脱炭素社会の実現へ～

表題



ねらい

- ・ 二酸化炭素を減らすために、様々な分野で新しい技術の研究が進められていることを知る。
- ・ 浮体式洋上風力発電の利点について理解する。
- ・ 全固体電池について、その特性やどのようなものに使われるようになるのか知る。
- ・ 排出された二酸化炭素を資源として再利用するカーボンリサイクルについて知る。

本教材で扱う 主な内容

脱炭素社会の実現につながる新しい技術、浮体式洋上風力発電、全固体電池、カーボンリサイクル

主な活動内容

主な活動内容	指導の要点	◆推進資料との関連 ■関連リンク
○ 推進資料①を見て、脱炭素社会の実現につながる新しい技術には、どのようなものがあるのか知る。	○ 脱炭素社会の実現のために、様々な技術が研究されていることを説明する。	◆ 掲示用教材① ■ 資源エネルギー庁 再エネキッズシティ 
○ 推進資料②を見て、浮体式洋上風力発電の仕組みを知り、利点について考える。	○ 浮体式洋上風力発電の仕組みを説明する。 ○ 風車を海の上に設置することの利点について、陸上に設置するときと比較して考えるよう声掛けをする。	◆ 掲示用教材② ワークシート①
○ 推進資料③を見て、全固体電池の特性を知る。	○ 全固体電池の特性について説明する。 ○ 全固体電池の普及によって、二酸化炭素の排出量の削減が期待されていることを説明する。	◆ 掲示用教材③
○ 推進資料④を見て、カーボンリサイクルについて知る。	○ カーボンリサイクルによって作られるものの例を示す。 ○ カーボンリサイクルがなぜ脱炭素社会の実現につながるのか質問する。	◆ 掲示用教材④ ワークシート②
○ 推進資料⑤を見て、脱炭素社会を実現するためにはどのような技術があるのか話し合う。	○ 二酸化炭素を出さない、排出を減らす、再利用するという観点で、自由にアイデアを出し合うよう声掛けをする。	◆ 掲示用教材⑤ ワークシート③ ■ 環境再生保全機構 集まれ！グリーンフレンズ 

